

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-191	高等学校	芸術	音楽 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	※ 教科書名		
17 教出	音 I 307	音楽 I 改訂版 Tutti		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培うことを目指すよう配慮しました。また、教材や学習内容の設定において、自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命を尊び、自然を大切にする態度を養うこと、ならびに伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。

紙面の例

幅広い知識・教養を身に付ける

このページは、音楽の歴史や文化に関する知識を学ぶための内容です。グレゴリオ聖歌「アレキヤ」、オルガスム『地上の全ての国々は』、鳥の歌（クレマン・ジメタン）の楽譜と解説が掲載されています。各楽曲の背景や作曲者の経歴、音楽の発展の歴史などが詳しく説明されています。

自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う

このページは、モーツァルトの交響曲第9番「喜劇」の第4楽章「喜びの歌」の楽譜と歌詞が掲載されています。歌詞はドイツ語と日本語で記載されており、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うための教材として活用されています。下部には、合唱団が演奏している様子を示す写真が添えられています。

▲p.108 鑑賞／西洋音楽史

▲p.60 アンディフロイデ（よろこびの歌）

教材の選択

- 個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うとともに、生徒一人一人の創造性を培うことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し、音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら、伝統と文化を尊重し、豊かな情操を培うことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら、生命を尊び、自然を大切に思う心情や、平和に寄与する態度を養っていくことができるよう工夫しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
声の世界	• 合唱を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉	p.4～65
	• 合唱を通して、生徒同士が心を通わせ、 自他の敬愛と協力を重んじ ながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉	p.4～65
	• 自然や四季の美しさ、生命の大切さをテーマとした楽曲を取り上げ、 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う よう配慮しました。〈第4号〉	p.14～19 / 50～51 / 58～59
	• 各地の民謡や芸能を取り上げ、 それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う よう配慮しました。〈第5号〉	p.46～49

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
楽器の世界	<ul style="list-style-type: none"> • 楽器の演奏を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 楽器の演奏を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 • 和楽器を実際に演奏し、その響きや奏法を体験しながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1，5号〉 	<p>p.66～97</p> <p>p.66～97</p> <p>p.90～97</p>
舞台芸術の世界	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 • 合唱を通して、生徒同士が心を通わせ、自他の敬愛と協力を重んじながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉 	<p>p.98～107</p> <p>p.98～107</p>
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な時代や地域の多様な音楽にふれ、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1，5号〉 • 世界の様々な音楽について、その個々の特徴を知るとともに、その背景となる文化や歴史にふれながら、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 • 我が国に伝わる音楽や芸能の系譜を学ぶとともに、その特徴やよさを味わいながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1，5号〉 	<p>p.108～129</p> <p>p.122～125</p> <p>p.126～129</p>
創作	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な創作活動を通して、生徒一人一人が目的意識をもちながら、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うよう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉 	<p>p.134～137</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

・カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

・見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-191	高等学校	芸術	音楽 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
17 教出	音 I 307	音楽 I 改訂版 Tutti		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書の4つの柱

音楽の幅広い活動を通して、表現及び鑑賞の能力を伸ばすことをねらいとし、「声の世界」「楽器の世界」「舞台芸術の世界」「鑑賞」の各ブロックを設け、教材や学習活動を選択、設定しました。

また生涯学習を視野に入れながら、生徒一人一人の感性を高め、意欲を喚起するとともに、生徒が自ら考える主体的な学習や、個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

声の世界

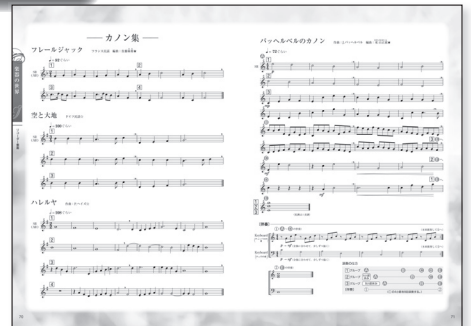
日本や西洋の歌曲からポピュラー音楽、そして我が国や世界各地の民謡まで、様々な種類の楽曲をバランスよく取り上げました。原語による歌唱も体験できるように配慮しました。



▲p.16 この道

楽器の世界

リコーダーやギター、和楽器などを用いた様々な曲種や形態の器楽曲を掲載しました。特に「カノン集」では、リコーダーの重奏として汎用性の高い楽曲を集めました。



▲p.70 カノン集

舞台芸術の世界

オペラ、ミュージカル、歌舞伎から作品を取り上げ、鑑賞と表現活動を通じて理解を深めることができるよう配慮しました。



▲p.98 魔笛

鑑賞

西洋音楽は、楽曲を時系列に沿って配置し、時代様式や楽曲の歴史的背景と合わせてとらえることができるよう工夫しました。我が国や世界の諸民族の音楽は、写真等を用いてそれぞれの特徴を的確にとらえることができるよう配慮しました。



▲p.116 鑑賞/西洋音楽史

各種コーナー

「創作」 p.134

既知曲をもとに変奏曲をつくる活動、音階を選んで音楽をつくる活動、イメージをもとに音楽をつくる活動、与えられた和音から対旋律や伴奏をつくる活動を設け、それらを通して創造的な表現の能力を伸ばすことができるよう配慮しました。

「Exercise !!」 p.132

日本語の発声や表現のための課題や、リズム打ち、視唱のための譜例を設け、歌唱表現やソルフェージュ能力の育成を目指しました。

「和楽器のしらべ」 p.90

箏、三味線、篠笛、和太鼓、三線について、楽器の構造や基礎的な奏法を、写真や図版を用いて紹介し、簡単な練習曲を掲載しました。

「Start up ! Playing the Guitar」 p.72

フォーク・ギターを用いて基礎的な練習を行えるよう、各部の名称や構え方、奏法などを示しました。

「Start up ! バンド・アンサブルの手引き」 p.86

ロックバンドの編成で用いる楽器や記譜について紹介しました。また、p.88にはバンド・アンサブルとして『Ticket to ride (涙の乗車券)』を掲載しました。

「コンピュータを活用しよう！」 p.87

コンピュータを用いた様々な音楽活動を紹介するとともに、著作権への配慮を促すコラムも設けました。

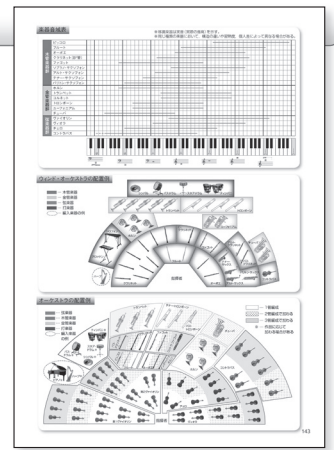
「ポピュラー音楽の世界」 p.130

北アメリカや日本を例に、様々なポピュラー音楽のジャンルを紹介し、アーティスト写真などとともに一覧できるよう工夫しました。

その他の特色

・充実した資料ページ

楽典、楽器の音域表と配置例、作曲家年表、音楽史と史実、リコーダー運指表、ギター&キーボード・コード表などを豊富に掲載しました。



・リンクマーク



楽曲や学習事項などが関連しているページを示すマークを設け、学習内容が定着するよう工夫しました。

・カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

▲p.143

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

・見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。また、伴奏譜も豊富に掲載しています。

2. 対照表

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞					
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ						
		曲想を感じ取り、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	曲想を感じ取り、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	曲想を感じ取り、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感じて演奏すること。	音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感じて演奏すること。	音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感じて演奏すること。	音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感じて演奏すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。
今、咲き誇る花たちよ	p.4～5	○	○			○	○												
世界に一つだけの花	p.6～7	○	○			○	○												
上を向いて歩こう	p.8～9	○	○			○	○												
少年時代	p.10～11	○	○			○	○												
心の瞳	p.12～13	○	○																
故郷	p.14～15	○	○	○	○	○	○												
この道	p.16～17	○	○	○	○														
椰子の実	p.18～19	○	○	○	○														
浜辺の歌	p.20	○	○	○	○														
荒城の月	p.21	○	○	○	○														

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞					
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ						
		曲想を感じ取り、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	曲想を感じ取り、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	曲想を感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを捉えて、イメージをもつて演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを捉えて、イメージをもつて演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを捉えて、イメージをもつて演奏すること。					音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを捉えて、イメージをもつて演奏すること。	
早春賦	p.21	○	○	○	○														
四季の歌	p.22～23	○	○																
Santa Lucia	p.26～27	○	○	○	○														
Caro mio ben	p.28～29	○	○	○	○														
'O sole mio (我が太陽)	p.30～31	○	○	○	○														
Heidenröslein (シューベルト)	p.32	○	○	○	○														
Heidenröslein (ヴェルナー)	p.33	○	○	○	○														
Sehnsucht nach dem Frühlinge (春への憧れ)	p.35	○	○	○	○														
Les Champs-Élysées (おおシャンゼリゼ)	p.36	○	○	○	○	○	○												
Sumer is icumen in (夏は来たりぬ)	p.38	○	○	○	○														
Danny Boy	p.39	○	○	○	○														
Yesterday	p.40	○	○	○	○														
Sing	p.41	○	○	○	○														
Bridge Over Troubled Water (明日に架ける橋)	p.42～43	○	○	○	○														
茉莉花 (まつりか)	p.44	○	○	○	○														
アリラン	p.45	○	○	○	○														
日本の民謡と芸能	p.46～47														○	○	○	○	
ソーラン節	p.48	○	○	○	○	○													
安里屋ユンタ	p.49	○	○	○	○														
夏の思い出	p.50～51	○	○	○	○														
さびしいカシの木	p.52～53	○	○	○	○														
Wiegenlied (子守歌)	p.54	○	○	○	○														
Finlandia-hymni (フィンランディア讃歌)	p.55	○	○	○	○														
ぶどう摘み	p.56～57	○	○	○	○														
大地讃頌	p.58～59	○	○	○	○														
An die Freude (よろこびの歌)	p.60～61	○	○	○	○														
Oh happy day	p.62～63	○	○	○	○														
You are my sunshine	p.64	○	○	○	○														
Happy birthday to you	p.65	○	○	○	○														
ペツォールトのメヌエット	p.66					○	○	○	○										
ファンファーレ	p.67					○	○	○	○										
アニメ・メドレー	p.68～69					○	○	○	○										
カノン集	p.70～71					○	○	○	○										
Start up! Playing the Guitar	p.72～73					○	○	○	○										
翼をください	p.74	○	○	○	○	○	○	○	○										
夢の中へ	p.75	○	○	○	○	○	○	○	○										
エチュード集	p.76～77					○	○	○	○										
グリーンスリーブス	p.78					○	○	○	○										

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ				
		曲想を感じ取り、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ取り、イメージをもって演奏すること。	音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって変奏や編曲をすること。	音楽素材の特徴を生かし、反復、変化、対照の構成を工夫して、イメージをもってつくること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもってつくること。	声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかわりを感じ取り、鑑賞すること。	音楽を感じ取り、鑑賞すること。	音楽を感じ取り、鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。
『冬』から	p.79					○	○	○	○								
風になりたい	p.80～82	○	○	○	○	○	○	○	○								
リズムック・パフォーマンス入門	p.84					○	○	○	○								
ヤンチャなチャチャチャ	p.85	○	○			○	○	○	○								
Ticket to ride (涙の乗車券)	p.88～89	○	○			○	○	○	○								
和楽器のしらべ	p.90～97					○	○	○	○								
涙そうそう	p.97	○	○			○	○	○	○								
オペラ『魔笛』	p.98													○	○	○	
Ein Mädchen oder Weibchen (恋人か女房が)	p.99	○	○	○	○												
ミュージカル『ライオンキング』	p.100													○	○	○	
Circle of life	p.101	○	○	○	○												
歌舞伎『勸進帳』	p.102													○	○	○	○
長唄『勸進帳』から「これやこの」	p.103	○	○	○	○												
Ombra mai fù (なつかしい木陰よ)	p.104	○	○	○	○												
Air de toréador (闘牛士の歌)	p.104	○	○	○	○												
The sound of music	p.105	○	○	○	○												
Tonight	p.106～107	○	○	○	○												
グレゴリオ聖歌「アレルヤ」/オルガヌム「地上の全ての国々は」/ヴェ・マリア/鳥の歌	p.108～109													○	○	○	
合奏協奏曲第8番 op.6-8/カンタータ第147番「心と口と行いと生活で」BWV147/トッカータとフーガ 二短調 BWV565	p.110～111													○	○	○	
交響曲第5番 op.67/クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581/セレナーデ ト長調 K.525	p.112～113													○	○	○	
歌曲集「美しい水車屋の娘」D795/ノクターン op.9-2/24の奇想曲 op.1/「ヴァルキューレ」第3幕への前奏曲	p.114～116													○	○	○	
交響詩「フィンランディア」op.26/アルハンブラの思い出	p.117													○	○	○	
牧神の午後への前奏曲/ボレロ	p.118～119													○	○	○	
春の祭典/変奏曲 op.27/ピアノフェイズ/交響曲「かちどきと平和」/シンフォニア・タブカーラ	p.120～121													○	○	○	
世界の声	p.122～123													○	○	○	
世界の楽器	p.124～125													○	○	○	
雅楽(舞楽)『蘭陵王』/長唄「京鹿子娘道成寺」/箏曲「千鳥の曲」/尺八曲 琴古流尺八本曲『鶯籠鈴慕』/和太鼓とオルガンとオーケストラのための「風神・雷神」	p.129													○	○	○	○
Exercise !!	p.132～133			○	○									○	○	○	
創作	p.134～137												○	○	○	○	